

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケート(内部評価)と保護者アンケート(外部評価)をもとにまとめました。まとめをご覧の上、来年度も本校の教育にますますのご理解とご協力をお願いいたします。

## 学校自己評価の目的

学校自己評価は、学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表して「よりよい学校づくり」のために行う活動です。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていこうとする意識や態度をもつことができます。

### 本年度の重点目標

- 1 「確かな学力」が身につく学習指導の推進
- 2 責任ある言動や「思いやりの心」の育成
- 3 「地域とのかかわり」を深める活動の推進
  - ・できた、わかった自分を見いだす学習指導
  - ▶ プライド5 誇り わたしたちの戸上中
  - ・人やものを慈しむ学校

## 学校自己評価の方法

### 1 アンケートによる調査

#### (1) 生徒による授業評価(7月実施)

全校生徒を対象に、授業にかかわる8項目をアンケートし、日頃の授業について分析しました。

#### (2) 保護者アンケート(11月実施)

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、11月の参観日に回収しました。回収率は、30.2%(昨年度 44.1%)でした。

#### (3) 教職員自己評価(12月実施)

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について自己評価を行いました。

### 2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、選択肢の回答を曖昧にせず、「A:十分 B:だいたい C:あまり D:全く E:分からない」の5段階にしました。

昨年度と比較するために、A・Bを肯定的、C・D・Eを否定的ととらえて、全体に占める肯定的なA・Bの割合を肯定率(%)としてグラフ化しました。

## 結果と考察

### 1 「確かな学力」が身につく学習指導の推進について

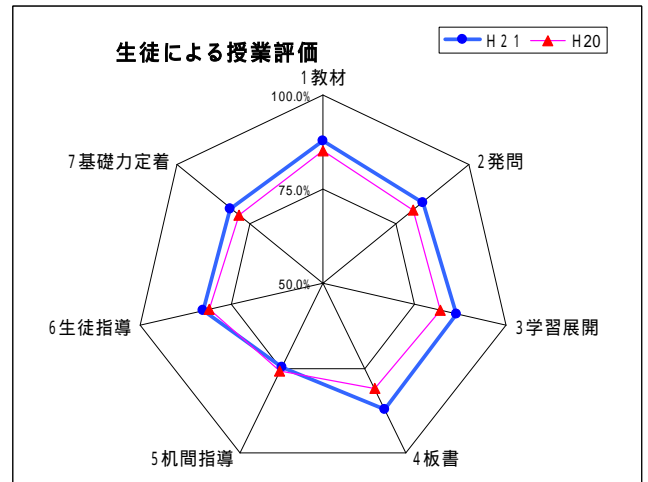
#### (1) 内部評価(生徒)

7月に生徒を対象に授業に対するアンケートをとりました。内容は「教材の工夫 教師の発問 学習展開 教師の板書 教師の机間指導 生徒指導 基礎力定着」の観点で、生徒がそれぞれの立場からみて日常の授業を評価しました。

「机間指導」の肯定率が昨年度をわずかに下回りました。

たが、それ以外の項目はすべて昨年度を上回り、教師の教え方に対してその良さが認められている結果となりました。今後も1時間の授業の中でできる限り多くの生徒に声をかけながら、「わかる授業」の実施に向け、授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

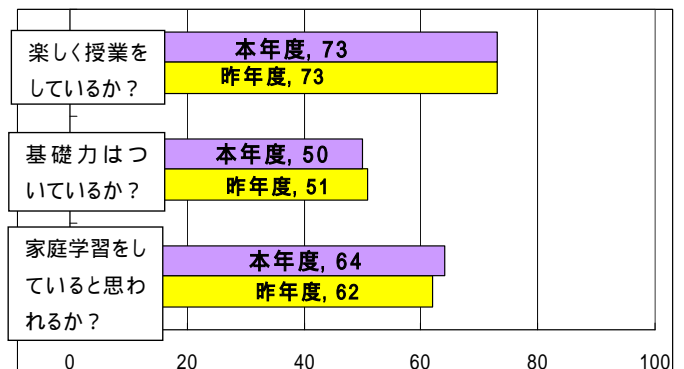
< 下のグラフは、生徒による授業評価を示しています >



### (2) 外部評価(保護者)

保護者から見た子どもの学習の様子をアンケートした結果です。グラフの数値は、「十分」「だいたい」と肯定的な回答の割合を%で示しました。

「基礎力の向上」については、昨年度よりわずかに下回り 50%の肯定率となりました。これはやや低いポイントと考えられ、保護者の皆様の中にもこの点についてふれられたご意見があり、本校の課題の一つと考えています。これに対して、本年度は「基礎基本の定着」をテーマに、全職員が授業を公開し、お互いに参観し合う中から「つける力の明確化」「ねらいに沿った手だてのもち方」等を学び合い、授業改善に取り組んできました。生徒たちのつぶやきや疑問にいっそう耳を傾け、生徒が「もっと学習したい」と感じる授業をめざして、さらに研修を積んでいきたいと考えています。その一方で基礎基本の定着に欠かせないのが家庭学習です。国語、数学、英語、生活記録の4点セットを毎日提出するように指導しておりますので、今後ご理解ご協力をお願い致します。



## 2 責任ある言動や「思いやりの心」の育成について

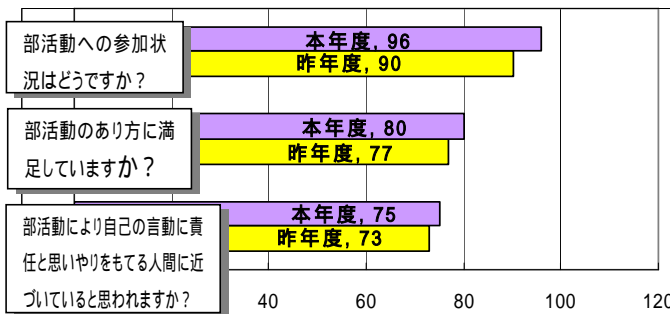
### (1) 内部評価

教職員の肯定率は、昨年度より上がって78%でした。今年も運動部では、陸上部女子駅伝チームの全国大会出場をはじめとし男子ソフトテニス部・卓球部・柔道部・剣道部の北信越大会出場等、好成績を残すことができました。また、文化部では、合唱部の県大会出場や科学研究部の県教育委員会賞受賞等の活躍があり、他の部も文化祭等において、成果を発表することができました。

部活動で指導してきている人間づくりは、生活指導と密接なかかわりがあり、「一流の人間づくり」を合い言葉に、よきプレイヤーである前によき中学生であることの大切さを考えさせ、学校生活での向上に努めています。

### (2) 外部評価

外部評価については、すべての項目が昨年度を上回りました。「自己の言動に責任と思いやりをもてる人間に近づいているか」の項目が年々向上してきていることは、大変喜ばしいことです。今後も部活動の目的が達成できるよう、指導に当たっていきたくと考えていますので、保護者の方々のお力添えをお願い致します。



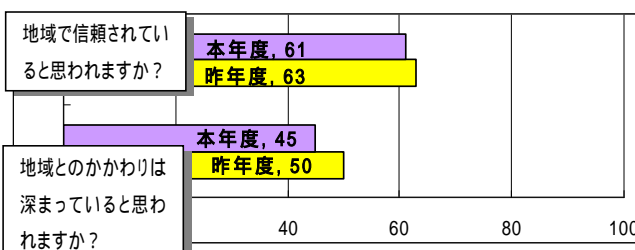
## 3 「地域とのかかわり」を深める活動の推進について

### (1) 内部評価

教職員の肯定率は75%でした。学校教育では、生徒会活動・総合的な学習の時間・進路学習(職場体験)などを中心として、地域とのかかわりを深めています。今年度は、「地域へのかかわりはまず挨拶」ということから気持ちよい挨拶を心がけてきました。また、ゴミ拾い活動や大西線の掃除、雪かき等の活動も引き続き行ってきました。今後も地域にかかわる活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

### (2) 外部評価

今年度も、PTA、学校評議員会、ふれあいネットワーク戸上、保護司会などの皆様より貴重なご意見を頂き、学校と地域とのかかわりを大切に考え、教育活動の実践を行ってきました。今年度は下のグラフのようにポイントが少し下がってしまいました。これは、「わからない」のポイントが例年に比べ高かった(特に1学年37%)からで、学校便り等を使った学校からの発信がさらに必要であると



考えています。

### 保護者の皆様から

外部評価の際に保護者の皆様から貴重なご意見、励ましのお言葉をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

#### 1 学習について

数学・英語の少人数の授業は、ていねいに教えてもらえるのでこれからも続けてほしいと思います。

子どもの目線で興味をひく授業内容にしてほしいです。詰め込みだけの授業ばかりでは頭に入りません。もっとやりたいと思える授業をさらに工夫してほしいです。子どもが進路を決める上でも一番大切なのは基礎学力だと考えるので、勉強する習慣をつけるようご指導をお願いします。

テスト勉強の方法をもう少し具体的に示してほしいです。

#### 2 部活動について

部活動はやはり学校と家庭とのタイアップが欠かせないと思います。これからも家庭の方からバックアップしていきたいと思います。

顧問の先生方が、具体的にどういった取り組みをされているのか、保護者に示す機会がもっとあるとよいと思います。

部によって活動に偏りがあるように思います。どの部活動も子ども達が向上心をもって活動できるようご指導をお願いします。

#### 3 地域とのかかわりについて

中学生がいない家庭にとっては、何を活動したのかわからない人も多いと思います。活動してきたことを地域にもっとアピールすることも大切だと思います。来年度はアピール方法や活動報告を工夫してみてください。職場体験で地域のお店や会社等で働いたことお互いに理解が深まりました。今後もより多岐にわたる職業でもっと体験ができるとよいと思います。

#### 4 「プライド5」について

(1)日本一の応援 今年は壮行会を見ることができ、感謝した保護者も多いと思います。声の大きさにビックリしました。すごいです。来年もぜひ続けてください。

(2)元気あふれるあいさつと部活動 学校を訪れるたびに気持ちよい挨拶をしてもらいうれしく思います。知らない部活の生徒が挨拶をしてくれて、戸上中もこういふふうになってきていることがうれしかったです。生活がしっかりしている証です。

(3)完全無言清掃 子どもがよく家で話してくれます。無言清掃は集中して清掃する心につながり、地域の奉仕へもつながっていくと思います。

(4)心をそろえる 靴がそろっていて下駄箱がきれいで戸上中の印象がよいです。これからもぜひ続けてほしいと思います。

(5)地域に感謝 ライオンズクラブの清掃ボランティア等、ボランティア活動に積極的に取り組み、感謝され、とてもよい活動だと思います。これからも続けてほしいと思います。